

建設の機械化

1990.8

No.486



◆巻頭言 会長に就任して……………	長尾 満	1
北陸支部長 故土屋雷藏兄を偲ぶ……………	中野 俊次	3
平成元年度建設機械の生産・輸出入の動向……………	前崎 雄彦	5
TBM 工法による急こう配斜坑導坑の施工 ……………	尾嶋 晃・小西 守・渋谷 雄二郎	10
鉄筋工事の CAD/CAM 化……………	佐藤 等	18
◆随想 シールドの歴史に想う……………	宇野 正	24
◆平成元年度官公庁・建設業界で採用した新機種 建設業界……………	小室 一夫	26
グラビヤ——JCMA 第 40 回海外建設機械化視察団 ハノーバー・メッセ '90 ほか		
◆JCMA 第 40 回海外建設機械化視察団報告 ハノーバー・メッセ '90 ほか……………		55
中小企業の労働時間短縮等職場環境の改善について……………	中小企業庁振興課	60
第 41 回通常総会開催……………		62
◆部会研究報告 最近の軟弱地盤対策工法とその実施例 (2)……………	技術部会軟弱地盤改良委員会	73
シールド技術に関する調査研究 (2)——急曲線施工の現状と課題 ……………	機械部会シールド掘進機・せん孔機械技術委員会	82
◆平成 2 年度社団法人日本建設機械化協会会長賞 自動化ケーソン工法……………		90



◆平成2年度社団法人日本建設機械化協会準会長賞	
超小型ミニバックホウの開発	92
建設機械施工管理システムの開発	93
軟岩トンネル無発破掘削工法（SD工法）の開発	94
鉄筋組立ロボットの開発と実用化	95
◆新工法紹介 02-63 泥水固化壁中の鋼矢板引抜工法／	
02-64 HAMAN工法／02-65 油圧ハンマ工法	調査部会 96
◆新機種紹介	調査部会 99
◆文献調査 ダンプトラックベッセルのゴムライニングの利点	
について／新型コンクリートパイル杭頭切断機の登場／レ	
ダで隠された舗装の欠陥を発見する／舗装作業を円滑にする	
多機能車載型コンピュータ	文献調査委員会 103
◆統計 建設工事受注額・建設機械受注額の推移	調査部会 106
行事一覧	107
編集後記	(畑野・久保) 110

* * *

故 坪 質氏追想録にみる建設機械化史の一側面(4) ……中野俊次 17, 23, 81, 102
 —建設機械主要諸元表(平成2年度版)追補—

◇表紙写真説明◇

**超ロングブーム付コンクリートポンプ車
DC-L 1000 B**

三菱重工業株式会社

本機は最近の高層マンション、高速道路工事、障害物を越えた部分の打設等に最適な、広い作業範囲をカバーできる国内最長の31mブーム付コンクリートポンプ車である。X型横開アウトリガの採用によりコンクリート打設時の全方位安定性がすぐれ、低ストローク化の実現で消耗機の寿命が長く騒音も少ない。さらにブーム先端の揺れが小さく作業性は

もちろん安全面ですぐれている。操作は手元、遠方ともに可能で特に遠方操作用の新型ラジコンの採用で省力化も図れる。車体は10t車としては小回り半径が8.8mと小さく、エンジン出力335PSと走行時、作業時ともに余裕を持っている。

〈主な仕様〉

ブーム仕様	3段屈伸地上高31m
最大吐出力	100 m ³ /hr
コンクリートスランブ許容範囲	5~21 cm
コンクリートシリンダ径×最大ストローク	205×2,050 mm
シャシ形式	三菱 U-FV 416 P (10t車)
車体重量	19,800 kg